



釣りキチ三平と共に目指す あきたの海ごみゼロ活動！

県民が持つ海洋ごみ問題の知識が浅く、ごみ削減・抑制・分別等ごみを減らす気運がまだまだ広まっていないことが問題と考える。また県民の認知度には、県沿岸部と内陸部で差異があり、内陸部でのごみに対する認知度が低いことが判明。秋田県での海洋ごみ等の課題解決は、ごみの漂着現場となる沿岸部だけではなく、内陸部での対策も積極的に講じる必要がある。今年度も釣りキチ三平を主軸とし、自治体や企業、大会やイベントとの連携を図り、様々な活動を連鎖させ、ローテーションさせることを留意し、三平と一緒に楽しみながら「学び」「感じ」「体験」する機会を創出。その活動やイベントに参加した記憶を植え付け、自分事化に繋げ、ごみ削減・抑制の意識向上を目指した。海洋ごみの認知度が低い内陸部での活動にも力を入れ、横手ふるさと村やまんが美術館での清掃イベント。北秋田市、仙北市で行われる100キロマラソンプログギングチャレンジ。大館市、秋田犬の里での犬の散歩でごみ拾いイベント等を実施し、多くの県民にあきたの海ごみゼロ活動の輪を拡げる取り組みに努めた。

2023年度 実施状況について

その他事業：拾い箱事業、ラジオ番組 CFBコーナー展開事業など

釣りキチ三平・地域/企業/ボランティア 団体連携モデル



- 概要** 三平着ぐるみを製作。様々なイベントに参加し楽しみながら海ごみゼロ活動をPR。インパクトある資源回収BOXをごみのホットスポットへ設置。全県6カ所設置。
- 目的** 楽しい記憶に残る清掃活動やBOX設置で、ごみ回収/分別促進、海洋ごみ問題、海洋環境保全への意識付けを図る。
- アピールポイント** 各イベントで大人気の三平着ぐるみとの清掃活動の記憶を植え付け広い層へごみ意識向上を浸透させる。今年度3カ所にBOX増設。人気の釣りのホットスポット（セリオン・男鹿マリーナ）に設置完了。
- 効果** 指標とした数字：イベント参加人数、釣場の釣り人数
検証方法：ごみの回収量や設置エリア参加者の声
見られた成果：ごみの散乱ポイ捨て減少

釣具店・釣り大会連携 釣り人行動変容モデル



- 概要** 釣り場・釣り大会で釣り人との清掃活動やブースでの啓発活動。県内釣具店と連携し、のぼりやチラシ、ごみ袋を配布。協力者へは三平ステッカーを配布。
- 目的** 昨今問題の釣り人マナー改善、釣り場のごみ抑制で釣り人の行動変容を促す。
- アピールポイント** 釣具店に、リサイクルBOXを設置し釣具や漁網などを回収し、リサイクル活動にも取り組んだ他、釣り人マナーアップキャンペーンCMを制作しテレビを使い釣り人のマナーの向上を図った。
- 効果** 指標とした数字：ステッカー/ごみ袋配布数参加者
検証方法：ごみ袋の回収量、釣り人、漁港関係者の声
見られた成果：釣場の清掃活動参加者の増

大学連携でのエビデンス調査モデル



- 概要** 全国的に珍しい砂浜の斜面に大量のプラスチックごみが堆積した層「ごみ地層」。「ごみ地層」が秋田にできるメカニズムの謎を説く。
- 目的** 学生達が、ごみ地層ができるメカニズムを学び、解決の糸口や自分達が今できることを考え、ごみ削減の自分事化を啓発する。
- アピールポイント** 若い層が調査する事で海洋ごみ問題を身近なものとなし、今後の行動変容を促す。またこの調査・発表を多くのメディアを使い取り上げ県民に発信した。
- 効果** 指標とした数字：砂浜斜面のごみの量
検証方法：砂の採取・篩がけ分類、計数、計量等
見られた成果：秋田の気候海流、ごみへの意識改革

海ごみゼロウィーク



ごみ拾い参加人数 3,800人

箇所数 5箇所

アピールポイント 県内を代表する観光地にて、ごみが目立つ雪解け時での清掃活動展開や、鉄人ランナーが全国から集う100キロマラソンと連携しプロギングチャレンジや大会を通して関係者にごみ抑制/分別を啓発。釣りシーズン到来！秋の釣り大会で釣り人との清掃活動を実施するなど。多岐にわたる企業団体との連携が実現。

メディア露出



メディア露出本数 21本（テレビ13本/ラジオ8本）

アピールポイント 実施イベントや活動は情報番組やニュース、WEB、SNSを使用し広く県民に発信。また自社媒体以外にも新聞や市報、大学HPなど他媒体からの問い合わせもあり掲載、扱ってもらうことができた。

2023年度の課題とこれからの展望

県内各地で、楽しみながら海洋ごみを減らす活動を展開してきたが、まだまだごみに対する意識が浅く、ごみ抑制の気運が高まっていない。今年度聞かれた声として、清掃イベントが行われていることを知らない、活動情報が入手できない、家族で参加したいと思う活動がないなどの声が届いた。来年度は活動前にメディアでイベント告知を行うなど新たな取り組みを加え、引き続き自治体や団体、企業と連携し、秋田が持つキラコンテンツを融合させ、啓発だけに終わらず、楽しみを創出し記憶に残る活動、イベントを行い、ふるさと秋田を愛する気持ちと、海ごみゼロを目指す気運の醸成を図る。